

平成14年度

秋田市文化章

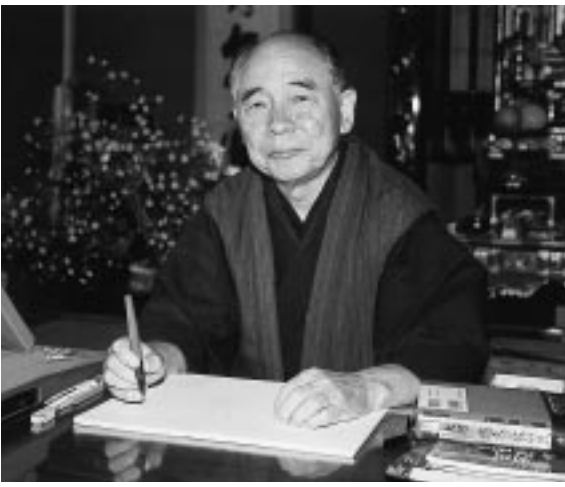
平成十四年度秋田市文化章の受賞者が決まりました。秋田市文化章は昭和二十六年に制定され、学術・芸術・産業・体育などの分野で、長年にわたり市の発展に大きく貢献したかたに贈られるものです。表彰式は、十一月一日(金)午後四時から、秋田キヤッスルホテルで行います。

問い合わせ 文化振興室 ☎(866)2246

文芸

土居輝雄さん

本名 長澤昭治
(広面字二ツ屋・73歳)



教職を退職後、秋田藩主佐竹氏の歴史を広く紹介するため文筆活動に入りました。佐竹氏の歴史をわかりやすく親しみやすい描写で小説化した「常羽有情」をはじめ、優れた歴史小説や史伝を多く出版しています。また、市民向け講座の講師や久保田城址歴史案内ボランティアの会の顧問として、会員の育成強化にも尽力。郷土史の研究を深め、優れた文芸作品を発表し、本市の文化振興に大きな功績をあげています。

ひまわり……………

七十路に

神の拾ひぬ

野菊かな

時は秋。人生、捨てる神あり拾う神あり。七十代になってこの榮譽にあずかった。

土居輝雄さんの講演会が10月17日(木)中央図書館明德館で開かれます。詳しくは17ページをご覧ください

産業

岸部恵一さん

(大町三丁目・66歳)



昭和四十五年(1970)年に協同組合秋田卸センターに入居以来、同組合の理事長などを歴任。組合財政の基盤強化をすすめ、新町名「卸町」の実現、団地内の共同配送業務の実施に尽力するなど、団地を一つにまとめ、その活性化と人材育成に努めました。平成九年からは秋田商工会議所の副会頭に就任。卸売・流通産業の発展に寄与しただけでなく、小規模事業者の育成など地域商工業の振興発展にも功績をあげています。

ひまわり……………

文化章をいただきびっくりしています。いままでの活動を振り返っても、私はサポーター的役割を果たしてきたつもりで、晴れがましい舞台には縁がないものと思っていました。今後、この章に恥じぬよう秋田のために尽くしたいです。